時事新報

第千六百二十九號　木曜日
明治二十年七月七日（癸酉）
舊丁亥五月十七日
日出午前四時五十一分　日入午後七時十八分
月出午後八時四十二分　月入午前六時二十五分
滿潮午前六時四十六分　午後七時〇七分
（西暦一千八百八十七年）

時事新報定價
一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓
一箇年前金六圓
○時事新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ配送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ郵送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金一行ニ付

一行廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上十五日迄	十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至卅行	九錢	七錢五厘	六錢三厘	五錢九厘五毛
自三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報

東京市區改正の計畫は如何

今の東京は德川覇府の遺跡にして其建都の當初に於ては全國の諸侯相集まりて各々所謂大名邸を設くるに隨ひ其需要に應ずるが爲めに亦隨つて市街を生じ其切れ〲の市街を綴り合せて始めて大都會の姿を成したるものなれば道路の迂直廣狹も一ならず諸建築物にも一定の制限なくして諸事萬端不都合の箇條少なからざる其有樣は如何に奮發して評するも大日本帝國の首府なりとは思はれざるなり左れば東京市區改正の事は輿論の夙に贊成する所にして先年故府知事松田道之氏在世の時にも專ら計畫せし所あり次で芳川顯正氏が在任の折には市區改正意見草案を起して道路の區劃、河川の開鑿疏通、市區内鐵道の位地及び橋梁の幅員等に就き一々其向きへ上申する所ありて追て市區改正調査委員をも撰定したる程なりしが之れに次で渡邊洪基氏は在職間もなく轉任し代りて今の高崎氏が府知事の任を襲ぎし以來は市區改正論も聲なく臭なく果して何處へ消亡し去りしや其形跡を尋ぬるに由なきもの丶如し或る説に據るに高崎府知事は市區改正の事を心頭に掛けざるには非ざれども改正の事業は中々容易の事に非ず例へば府内に用水管を引き汚水排除管を敷設するの二事業は市區改正に伴ふ所の重要件にして東京府をして時々コレラ病の巣窟たらしめざらんとするには是非とも此二事業を舉行せざる可からざれども抑も東京の地たる市街より海岸に至る勾配甚だ緩にして折角汚水排除管を設けて汚穢物を海中に排除するも滿潮に際すれば其汚穢水は潮のまに〲岸邊に寄せ來るの患もあり假令此等の患を防がんと欲せば成る可く堅固なる排除管を設け其管口と海底遠くまで達するやうに敷設する等其工費莫大にして右二事業のみにても其費用凡そ數千萬圓にも上る可しと云へる説を聞きし府知事も改正事業の容易に手を下し難きに避易し居るの氣味もあるならんと云ふ蓋し東京市區改正の不容易なるは今更我輩の贅言を俟たざる事柄にして一時に道幅を取り廣げ街上一面に甃石を敷き詰め家屋制限を嚴にして一望煉瓦の街を造り街路縱横恰かも碁盤の目の如くならしめんとするには其費用莫大にして殆んど今の人力の及ばざる所なるべく左れども市區を改正するには必ずしも一時に兵急の策を用ゆるを要せず唯先づ其改正の計畫を定め置きて時の需要の許す限り漸次に之を成就すると實際の緩急に適しゐるものなれば即ち我輩の希望に於て市區改正の最急務は先づ其改正の地圖と計畫するに在り改正の地圖成るを告ぐるの日は眞に是れ全府改造の成るを告ぐ可き改造の端緒を開くの日にして其端緒より結果に至るの日は之と今日に同はずして可なり若し夫の改正の地圖を製出せずして水道鐵道石橋瓦斯管等の工事を起す部分もあらんか他年全府改造の事を妨害するものは實に此點に在るなるべしと云々の説ある所以にして市區改正に屬する諸工事中目下の處にては假令へ着手の見込なきものも多かるべきも工事の難易は之を他年の設に期して先づ差當り改正の地圖を測定し豫め其方向を示すこと最も肝要の事なる可し現に今日の諸事業中にも改正地圖の確定せざるが爲めに往々不都合を感ずるものなきに非ず例へば府下にて漸次瓦斯の需要を增加するに就ては西洋諸國の例に倣ひ瓦斯貯蓄所と瓦斯需要家との間と成る可く接近すると瓦斯會社の經濟上に大切なるが故に瓦斯會社にては追て所々に支局を置かざる可からず其支局を置き將た瓦斯管敷設の線路を撰むの場合に改正地圖の參考するものなきときは會社後來の掛念決して少なからざるべし或い近來府下の或る部分に水道會社を起し鐵管を以て市中各家に用水を供給すべしなどの説ありて之と實行すると敢て六ヶ敷からざるべしと雖ども改正地圖の定まらざる間は之を發起するも亦不都合の廉多からん或は近頃電氣燈の流行ありて今度の新皇居へも之を設置する由なれば追ては之を市街に點ずるの日あるべく斯くて此電燈線を撰むにも後來市區改正の方向を參考するの便なくんば其向きの人は爲めに大に當惑する所もあらん市區改正は府民全體の利害に關する事柄にして公共の事業は勿論或は一箇人の私に於ても苟も事の永遠を謀るものは必ず先づ後來市區の模樣如何を參考せざる可からざるが故に當局の人も亦須らく此意を體して一刻も早く東京市區改正の規模を定むべきと我輩の今日に希望する所なり

雜報

○米國コロラード州デンバル府通信　五月廿八日發

メルベン運動會　當州も追々暑氣に向ひ二三の高嶺を除くの外は山嶽ゑ積雪と見え府内の市街も日中は何となく淋しく繁昌するは氷屋計りなり左れば貴女紳士連は去月頃より避暑の爲めぞろ〲田舍に赴むくもの多く新聞紙の如きも此節は格別政治向きの事と記載せず僅に愛翫事件を記するの外はクラブ、レース等の事のみなり偖夏季の運動會は度々催す所にして隨分盛大なる事なるが去る廿四日のメルベン市街の運動會は又一種特別のものなりし抑も同會の主意と云ふは當府の近傍にて夏季の納涼に適する地を撰み一市街を新設して以て來人の便に供し且之に依て利益と圖らんと商人及金滿家等は兼て計畫する處ありて既に資本も集りたると以て地所は當府の南十二英里に當つて鐵道停車場の設けあるメルベンと稱する地と定め市街の區畫測量等も整頓したれば同所は景色に富み納涼に適當なる事を公示し且新市街の地所を賣渡さんとの目的にて偖こそ此運動會を催したるものなり通信者も當日の景況を見んと早朝より出掛けたりしが共會員はデンバル府より臨時汽車にて該地に赴むきたる男女殆んど三千餘人とピュカブロ府（同府は當州第二の都會にして人口二萬餘デンバル府を南に距る事百二十英里にあり）發の臨時汽車にて殆んど千餘人ありしかば是までは寂寞として人影なかりし淺石に廣き森林も人の山爲す賑ひにて幾組となく引分れ思ひ〲の遊戲を爲して散じたり

共同太平鐵道會社の同盟罷工、米國の勞働者は世界各地方より移住したるものなるが故に勞働外の賃錢を貪らんとする無賴漢も亦た從つて多ければ是や到る所に同盟罷工の報知と絕たず當府にても共同太平鐵道會社（同社はワイオミング、カンサス、ミゾレ等へ通ずる鐵道會社なり）の株主と勞働者の間に一大紛爭を生じ同盟罷工を爲すも數日と出でざるべき有樣なるが故に同社の役員株主等と此事に付て度々集會せり其原由は例の勞働者は增給を請求し株主は之を否みたるより起りたるものなり

當州鐵道の實價　當州は前便にも屢々報じたる如く僅々二十餘年前の新開國なれども鐵道の敷設は縱橫に行渡り十時間を出でずして何れの端隅にも達する事を得べし（州の面積は日本の本陸と同じ）近頃當州の統計家キングスレー氏が去る四月までに落成したる全州の鐵道價格を調査したるを見るに二千三百六十九萬六千六百六十六弗にして此内本年初より四月までに敷設したるも四十萬弗の價格なり但し平地の敷設費は一英里平均六千圓内外を要すと云ふ

ケーブルカー　當府内には鐵道馬車及び電氣鐵道あるが上に前府知事レート氏の發起にて桑港の如きケーブルカーを敷設せんと巳に政府の許可を得て材料買入の爲先社員をニユーヨークへ派遣したれば工事の着手も近々の内なるべく同會社の見込は本年中に少なくも二英里は敷設する積りなりと云ふ因に云ふ同府の市街鐵道は總べて其幅三尺六寸なり

○大坂通信　（七月二日發）　大坂商船會社　は本年上半季間の乘客荷物增加せしより同季の收入は同社創業以來の多額にて總計四十九萬千百四十一圓九十九錢七厘にして同季間の支出費用三十四萬三千百二十圓四十五錢三厘差引の純益十四萬八千廿一圓五十四錢四厘あり内準備金、會社積立金等を引去り壹株（五十圓）に付二圓八拾錢餘の配當なるよし○遞信省大坂司檢所　は是迄北區富嶋町大坂府立商船學校内にありし所今度西區本田三番町三十三番地四百坪餘を買上け不日木造の西洋風に建築するよしなり○毛絲紡績　和歌山縣和歌山區紀州ネル製元の平松芳次郎氏外數名の發起にて今度大坂府下堺區に毛絲紡績會社を設け羅紗フランネル地を織り出す計畫にて當今株金募集中なり同社の資本金は十五萬圓として盛んに製出し同品目下の輸入を拒くのみならず往く〲は海外にも輸出せん目的なるやに聞く○養蠶事業　大坂府管内養蠶事業の大略を聞くに各郡の養蠶傳習所は勿論普通の養蠶家に至りても本年は大に其の事業を擴張し昨年は一貫目五六錢位なりし桑葉も本年は品拂底の爲め二十錢前後の高價なるにも拘はらず夫れ〲之を買入れて盛んに繭を製せし所之を賣捌ふ時季に至りて繭の相場の兎角引立ち兼ねしのみならず同府下には製絲家の少なき等にて意外なる損毛を來し養蠶家一同は頗ぶる困難と極め居るよし右に付大坂府農商課にては同府下に製絲家と增し製絲事業に保護を加へ桑園の如きも大に之を增設せんとて目下頻りに其計畫中なりと云へり

○京都通信（七月一日發）露國の皇族　露國皇族アレキサンドル、ミハエロウヰツチ殿下にはトルスレイフコチトルユールストレンム伯、アランダ艦長スタリートロン氏其他隨行の人々と共に去月廿九日午後當京都に來着、圓山也阿彌樓と旅館と定められ翌三十日午前九時より旅館を出で丹波國南桑田郡王子村に赴かれ老ノ坂隧道を一覽の上同郡山本村を經て保津村字阿久根に着